



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 東邦化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長

(氏名) 井上 豊

TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,467	△3.3	347	239.5	327	—	135	—
27年3月期第2四半期	20,139	11.3	102	23.8	△184	—	△308	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 149百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △386百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.33	—
27年3月期第2四半期	△14.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	45,480	10,892	23.8
27年3月期	45,920	10,870	23.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,803百万円 27年3月期 10,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△3.5	1,050	425.6	700	70.6	220	—	10.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	21,350,000 株	27年3月期	21,350,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	16,193 株	27年3月期	16,193 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	21,333,807 株	27年3月期2Q	21,334,237 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績

平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	△4.2	1,600	87.9	1,500	84.4	1,000	107.0	46.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き緩やかな回復基調が続きました。設備投資は企業業績の改善とともに緩やかな増加基調を維持し、個人消費も、雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移しました。一方、輸出は、中国をはじめとする新興国経済の減速による影響から伸び悩みました。

今後も新興国・資源国経済の動向や欧州経済の債務問題、また原油価格の行方などのリスク要因があり、先行き不透明な環境が続くことが予想されます。

このような経営環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、総じて需要が弱含みであったこと、並びに原材料価格の値下がりに伴う売価の下落の影響などから低調に推移し、前年同期比6億71百万円、3.3%減収の194億67百万円となりました。

一方、利益面は、個別業績が、原材料価格の値下がりに伴う利益率の改善並びに新規開発品の収益寄与などで大幅な増益となり、東邦化学(上海)有限公司における主要製品の販売活動の遅れに伴う損失負担の影響は大きいものの、連結業績においても増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の損益は、営業利益が2億45百万円増益の3億47百万円、経常利益が3億27百万円(前年同期は経常損失1億84百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億35百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億8百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤が振るわず若干の減収となりました。プラスチック用界面活性剤は、自動車関連の乳化重合剤等の販売により微増となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート関連薬剤や建材用薬剤が振るわず大幅な減収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、潤滑剤やサイズ剤の伸びを主因に増収となりました。農薬助剤及び繊維助剤は、海外需要向けの販売が低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比4億56百万円、4.3%減収の102億89百万円となり、セグメント利益は、2億44百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザーの定修の影響により大幅な減収となりました。合成樹脂は、自動車関連向けウレタン樹脂等の落ち込みを主因に減収となりました。樹脂エマルションは、フローポリッシュ用等が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億52百万円、14.4%減収の15億3百万円となり、セグメント損失は、34百万円となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売を中心に増収となりました。石油添加剤は、潤滑油添加剤や油水分離剤等が振るわず、金属加工油剤も主力の水溶性切削油剤等が低調で、共に減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3百万円、0.1%増収の31億28百万円となり、セグメント利益は、50百万円となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、電子材料用は低調でしたが、一般溶剤の伸長及び医薬品製造用向けの需要回復により微増となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、引き続き新規開発品等が順調に推移し増収となりました。アクリレートは、電子情報材料用の海外販売が後半にかけ落ち込み、若干の減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比41百万円、0.9%増収の45億3百万円となり、セグメント利益は、1億48百万円となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間において、報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用を、同社製品の販売活動の本格化に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含めております。そのため、セグメント利益又は損失につきましては、前年同期と前提が異なりますので比較情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、454億80百万円と前期末比4億39百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が3億4百万円減少の231億57百万円、固定資産が1億34百万円減少の223億23百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が4億39百万円の減少、受取手形及び売掛金が90百万円の増加、たな卸資産が68百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が86百万円の減少、投資その他の資産が58百万円の減少です。

一方、負債合計は345億88百万円と前期末比4億60百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が50百万円の増加、短期借入金が1億86百万円の減少、固定負債で、長期借入金3億52百万円の減少です。

純資産は、108億92百万円と前期末比21百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額の7百万円の増加、その他の包括利益累計額が12百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は23.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は39億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億39百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は10億5百万円の収入（前年同期比4億44百万円の収入増）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益3億14百万円、減価償却費10億50百万円、たな卸資産の減少1億2百万円等であり、支出の主な要因は、法人税等の支払額2億6百万円等があります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億15百万円の支出（前年同期比1億55百万円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億6百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は8億47百万円の支出（前年同期比51百万円の支出減）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額2億58百万円、長期借入れの純減額3億15百万円、リース債務の返済による支出1億46百万円、配当金の支払額1億28百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、第3四半期以降も製品需要が弱含みで推移する見込みであり、連結・個別ともに前回予想を下回る見通しです。

利益面は、個別業績は、引き続き原材料安の環境が続くものとみており、利益率の改善効果から期初予想を上回る見通しですが、一方、連結業績は、東邦化学(上海)有限公司での主要製品の販売の遅れによる損失の影響から、営業利益及び経常利益は前回予想と変わらず、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見通しです。

その結果、平成27年5月13日の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました平成28年3月期の通期業績予想を連結・個別ともに修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,629	4,190
受取手形及び売掛金	8,972	9,063
たな卸資産	8,910	8,841
その他	949	1,061
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,462	23,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,714	8,677
機械装置及び運搬具(純額)	4,351	4,166
土地	3,281	3,271
建設仮勘定	22	301
その他(純額)	1,665	1,531
有形固定資産合計	18,036	17,949
無形固定資産	1,011	1,021
投資その他の資産	3,410	3,351
固定資産合計	22,457	22,323
資産合計	45,920	45,480

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,187	7,237
短期借入金	6,580	6,394
1年内償還予定の社債	1,800	1,800
未払法人税等	202	217
賞与引当金	346	356
その他	2,277	2,187
流動負債合計	18,393	18,194
固定負債		
社債	4,120	4,120
長期借入金	7,606	7,254
役員退職慰労引当金	105	104
退職給付に係る負債	3,470	3,538
資産除去債務	57	58
その他	1,294	1,317
固定負債合計	16,655	16,393
負債合計	35,049	34,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	6,037	6,045
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,685	8,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	736
為替換算調整勘定	1,318	1,418
退職給付に係る調整累計額	△49	△44
その他の包括利益累計額合計	2,097	2,110
非支配株主持分	87	89
純資産合計	10,870	10,892
負債純資産合計	45,920	45,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,139	19,467
売上原価	17,800	16,811
売上総利益	2,338	2,655
販売費及び一般管理費	2,236	2,307
営業利益	102	347
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	23	26
為替差益	-	106
その他	66	44
営業外収益合計	91	180
営業外費用		
支払利息	150	149
為替差損	169	-
その他	58	51
営業外費用合計	378	201
経常利益又は経常損失(△)	△184	327
特別損失		
固定資産廃棄損	22	2
減損損失	-	9
特別損失合計	22	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△206	314
法人税等	101	180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△308	134
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△308	135

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△308	134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△92
為替換算調整勘定	△196	102
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	△78	15
四半期包括利益	△386	149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△383	148
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△206	314
減価償却費	997	1,050
減損損失	—	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	76	74
受取利息及び受取配当金	△25	△30
支払利息	150	149
為替差損益(△は益)	176	△94
固定資産廃棄損	22	2
売上債権の増減額(△は増加)	△342	△60
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	102
仕入債務の増減額(△は減少)	△11	42
その他	△20	△231
小計	790	1,338
利息及び配当金の受取額	25	30
利息の支払額	△160	△155
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△92	△206
営業活動によるキャッシュ・フロー	561	1,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△442	△606
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
その他	△10	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459	△615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△359	△258
長期借入れによる収入	1,450	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,718	△1,815
社債の発行による収入	888	—
社債の償還による支出	△900	—
リース債務の返済による支出	△131	△146
配当金の支払額	△128	△128
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△899	△847
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△846	△439
現金及び現金同等物の期首残高	3,897	4,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,051	3,994

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成産	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,746	1,756	3,124	4,461	20,088	50	20,139	—	20,139
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	95	95	△95	—
計	10,746	1,756	3,124	4,461	20,088	145	20,234	△95	20,139
セグメント利益 又は損失(△)	318	△30	36	6	330	27	358	△255	102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△255百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△323百万円及び棚卸資産の調整額37百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成産	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,289	1,503	3,128	4,503	19,424	42	19,467	—	19,467
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	92	92	△92	—
計	10,289	1,503	3,128	4,503	19,424	135	19,560	△92	19,467
セグメント利益 又は損失(△)	244	△34	50	148	408	27	436	△89	347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89百万円には、棚卸資産の調整額△115百万円等が含まれております。なお、前第2四半期連結累計期間において、報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用については、全社費用として調整額に計上しておりましたが、同社製品の販売活動の本格化に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含めております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。